進取

令和６年１月22日
金武小　第19号
校長 安慶田正人

金武町学力向上推進実践報告会から

金武町学力向上推進実践報告会が行われました。金武町の学力向上推進の目標は、幼児・児童・生徒一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育むことです。それは、将来の「子ども達の自立」を意識した活動の実践によって培うものです。その目標達成に向けて、金武町の子どもたちに対して「どのような取組が必要か？」を考える良い機会となりました。

【学校で取り組むこと】

◎基本的な学習規律の定着
学習に向かう姿勢、構えなど学習規律を共通実践
◎授業力向上（特に算数嫌いの子を減少させる）
校内研修等で情報を共有し相互見学実施

【家庭・地域で取り組むこと】

◎基本的生活習慣の確立
親が見本となり生活リズムを確立させる。特に、スマホ・ゲームへの依存度が高いため、使用に関する約束を徹底する。睡眠時間減→集中力低下へ繋がる事例が多く見られる。
◎キャリア教育を地域や外部機関と連携し実施
これからも将来を担う子ども達のために、学校・家庭・地域が連携して健全な児童育成に取り組んでいきましょう。

児童会活動「学校かくれんぼ大会」

子供たち自ら企画・運営する「学校かくれんぼ大会」を昼休みの時間（四日間）を活用して、縦割り班のメンバーで行いました。教師も参加して子供たちと共に楽しいひとときを過ごすことができました。児童会の主体的な活動をとてもうれしく思います。

各種検定へ挑戦！　頑張ってます！

ある企業の調査から日本の子供たちの中で検定・資格を「持っている」小学生は五十四％。取得している検定・資格は「日本漢字能力検定（漢検）」が最多で、資格を取得する目的は「身に付けた知識やスキルの定着度合いを測るため」となっており、本校でも英検や漢検に取り組む児童が多くなっています。学校に通っているときが一番取得しやすい時なので、チャンスがあれば、ぜひ勧めてほしいと思います。

あいさつの大切さを家庭から

「おはようございます」元気な声が学校に響く時、一日の始まりが清々しい気持ちになります。人として成長し大人になり、人との関わりの中で大切なことは「礼儀→あいさつ」です。一年を振りかえるこの時期に、自分自身のあいさつは、習慣化しているだろうか？（学校ではどうだろう？家庭ではどうだろう？）毎朝、校門前であいさつに立っていただいている民生児童委員のみなさんは、金武小の子ども達が進んであいさつのできる子になってほしいという思いから活動を続けています。感謝ですね！

あいさつは、日頃から意識して続けていかなければ定着は難しい、だからこそ学校だけでなく、生活の基盤である「家庭」での当たり前になってほしいと思います。あなたの家では「あいさつ」響いていますか・・・

インフルエンザ流行！健康管理徹底！

三学期が始まり、子供たちの健康状態が気になります。インフルエンザに罹った子が増えています。日頃の基本的な生活習慣（早寝・早起き・食事等）を今一度確認し、子供たちの健康管理に努めていきましょう。よろしく！